資料①

第10次工芸振興計画審議会　第２回会議を踏まえての対応表　　2026/10/21

No	発言主旨	回答	対応
1	P4の各産地からの品名だが、竹富織物とは、産地名を表示しているように見えるので、表記を工夫できないか。	ご指摘のとおり、竹富織物という品名はない。竹富町織物事業産地組合からは、これまで「八重山上布」、「八重山ミンサー」の生産額が合算で報告が上がってきている。	竹富織物については削除し、八重山上布・八重山ミンサーに計上する。
2	P4以降の品目の琉球絣の記載だが、琉球絣だけの記載なのか、南風原花織も入っているのか。 宮古上布もそれ以外も入っているのではないか。	ご指摘のとおり、琉球絣の数値は南風原花織との合算である。 宮古上布の数値も宮古上布以外も含めた合算の数値である。	P4以降の表記「琉球絣・南風原花織」と記載。 P4以降「宮古上布等」と記載。
3	p10- 37行目　びんがたの型紙として使用する渋紙やＳＴ紙を追記できないか。	P10ー37行目に記載する。	P10-37行目に記載。
4	P17の琉球漆器の現状と課題については、現状に沿った記載にしていただきたい	現状に沿った記載をする。	P17に記載。
5	工芸品における産地組合の役割は大きいと思っている。P21-16行目に各産地組合を明記してほしい。	産地組合の役割として記載する。	P21-16行目に記載。
6	①後継者人材育成における各産地組合や工芸振興センターが担っている役割は大きいことから、計画に明記してほしい。教育機関等に産地組合も含まれていない場合は、産地組合を記載してほしい。 ②P37-28行目のネットワーク構築の部分でも同様に産地組合を明記できないか。	委員意見のとおり記載する。	①P21-30行目に記載。 ※P21-30行目の修正に伴い、 　P21-21行目の項目名も変更する。 ①-2　P25- 27行目修正、記載。 ②P37-28行目に記載。
7	県内各博物館や美術館、研究機関等との知見も活用、とあるが、知見の部分に具体的な事例等を追記してもらいたい。	委員意見のとおり記載する。	P25-34行目に記載。 P26-3行目に記載。 P26-4行目 に記載 P26-7行目 に記載

No	発言主旨	回答	対応
8	P26の原材料や道具の確保だが、安定供給の他、原材料や製作道具は沖縄の自然や歴史・文化に育まれた資源なので、「原材料の生産、加工、制作に係る技術や歴史的背景、地域に受け継がれた知識についても、研究機関等と連携して次世代へ継承していくことも重要である」との記載を入れられないか検討してもらいたい。	委員意見のとおり記載する。	P26-33行目に記載。
9	原材料及び道具の安定確保について、必要量の把握やネットワーク構築が記載されているが、産地単位だけでなく、組合間の連携による共同調達や購入といった広域的取組の検討	委員意見のとおり記載する。	P27-14行目に記載。 P27-23行目に記載。
10	技術継承や原材料管理、道具の保存、販路開拓などの分野では、デジタル技術やAIなどの新しい技術を活用できる余地もある デジタルアーカイブによる保存に加え、工程の記録や道具のデータ化など、新しい技術との融合によって、これまで解決が難しかった課題へのアプローチも可能になるのではないか	施策1の新たな小項目としてP28に「DXによる技能継承と生産プロセス革新の推進」を追加する。	P28-31行目からP29-25行目に記載。